

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



シャインマスカットの簡単な房づくり方法



- 栽培面積が増加するシャインマスカットについて**簡易な花穂整形方法**を山梨県果樹試験場が提供しています。
- この方法は今までの花穂整形時に切り落としていた**上部支梗**を残し、果房として活用する方法です（写真）。
- 花穂は整形時に長さ4～4.5cm程度ですが摘粒時には7～8cmと適度となります。
- この結果、本方法は果実品質には殆ど影響なく花穂整形や摘粒に必要な時間を**6割削減**出来る有効的な**省力作業技術**となります。
- 現地農家では、全面的に採用している方他に、軽トラが駐車する入口スペースやSS通路、樹齢や樹勢など**各園の状況に合わせて**部分的に利用する事例が多い様です。

<上部支梗利用>

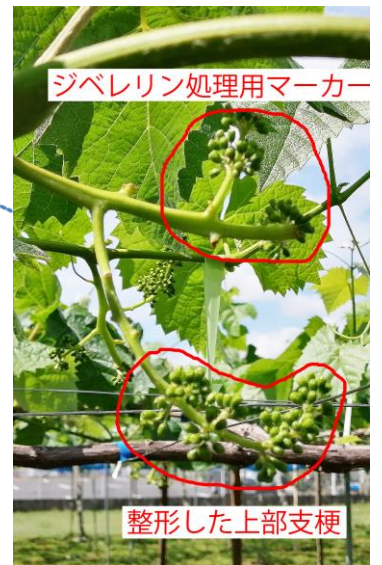
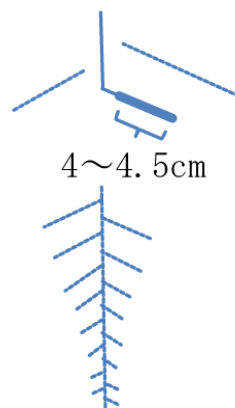


写真 上部支梗を利用した花穂整形方法



マグネシウム欠乏発生に注意



- 開花期を過ぎた頃から盛夏期にかけて、ブドウの**葉脈の間が白く抜ける症状**が見られることがあります。
- これは葉に必要な**マグネシウム（苦土）**が**不足**した欠乏症状です（写真）。この症状が発生した樹では**果実の着色不良**や**果肉がだらける症状**が認められ、果実品質が低下します。
- 対策法は、マグネシウム肥料の**土壌施肥**、拮抗関係にある**カリ肥料の施肥を控える**他に、欠乏症の発生抑制のため**樹勢を適正化**する等があります。
- 早期に回復したい場合は、マグネシウムを主体にする**葉面散布剤**を数回散布して下さい。



図 巨峰のマグネシウム(苦土)欠乏葉